

議会報告

令和5年3月那珂川市議会定例会

会期24日間(2月28日から3月23日まで)
議案47件が上程され審議されました。

令和5年度一般会計予算 約 199億5,119万円余
対前年比 約 +14億3,176万円余(8.6%増)

■主な議案のみご紹介します

- 園児送迎バス置き去り防止安全装置が5園9台に導入されます。
- 産前・産後家事育児支援ヘルパー派遣が始まります。
- 中央保育所の登園管理などがICT化されます。
- ミリカ通りのバリアフリー化工事が始まります。
- 大町公園に防球フェンスが設置されます。
- 不登校支援指導拠点として教育サポートセンターが開設されます。
- LINEチャットボットが運用開始されます。
- 中央公民館のトイレが改修されます。
- 公用車に電気自動車を3台導入します。

詳しくは、春田ともあきホームページ <http://haru3.net/> をご覧ください。

■定例議会を振りかえって

LINEチャットボットが始まります。
新年度予算にてチャットボット構築業務委託料とチャットボット使用料が計上されました。
今後運用が本格化した時のため、昨年の12月議会で提案した、誰でも公平な行政サービスが受けられるよう講習会の開催を提言して行きます。

3月議会 一般質問

「ごみ処分の負担割合の見直しを」

- 春田 部長** 本市のカーボンニュートラルにおける、家庭ごみの削減目標値は排出量推計値から2030年までに20%、2050年までに36.4%削減を目標設定している。
- 春田 部長** 本市のごみリサイクル率の達成状況は、各年度20%を目標にしているが、令和3年度は14.4%である。
- 春田 部長** 毎年、一般会計から約5億円もの予算を、家庭系ごみ処分のために支出しているが市民の負担割合は、
- 春田 部長** ごみ収集、ごみ袋に係る費用の総額に対して11%から18%程度である。
- 春田 部長** 再資源化ごみ袋と燃えるごみ袋の処分に係る市民の負担割合が同等では、分別している方に対して不公平な行政サービスではないか。他の自治体のように負担割合を見直すべきでは。
- 春田 部長** 周辺自治体の状況や物価の推移、カーボンニュートラルにかかわるごみ削減策を踏まえて総合的に判断したい。

那珂川市 各ごみ袋における廃棄負担額の割合

